

イネの緑色の葉の先端が黄色味を帯びています。 イネの穂と花です。





緑色の葉の中に、串のように見えるのがイネの穂です。



穂までのイネの高さは、80 cmに届きそうです。田植えの時には、片手でもてたイネ。こんなに大きく育っています。そして、花を咲かせました。



穂の先端です。モミの様な形が鮮明ですし、白色の物が付いています。穂先には、イネの花（えい花）がたくさん集まっています。

イネの花です。
モミの形で、中でお米が育ちます。育つにつれて緑色から黄金色に代わり、美味しいお米の粒になります。

時がたちおしべは黄色くなり、枯れてしまいます。

モミが二つに割れています。中におしべとめしべがあります。

中で、おしべの花粉がめしべについて受粉します。

イネの花のおしべが顔を出しています。

この白色のかたまりのようところに花粉が入っています。

イネの花といわれるのは、白色のおしべの様子のことです。

一つの穂には、100粒以上のえい花が咲き、米粒になります。

えい花は、9時半ごろからお昼にかけての2時間ぐらいの間に咲き、閉じてしまいます。

また、穂の出方も早く、イネの葉のさやの間から穂が顔を出すと一日で穂の全てが現れるそうです。

穂が伸び、花が咲くのは広い田んぼに一斉のことです。時を逸すると確認するチャンスを逃してしまいます。この撮影は、伸びきったイネの穂と咲き終わった花でした。

間に合いませんでした。 すみません。

< 付録 >



「ツユクサ」

全国に広く分布し、道端や庭の隅で見かけます。私たちの田んぼの北隣、雑草の中に見つけました。

朝、咲いて午後にはしぼんでしまうので「朝露の草」とも呼ばれているそうです。

マクロ写真では、このように写ります。驚きの造形です。

この花の名前は？



身近にある花です。 マクロ写真では、普段目にしない造形が見られます。